

HiGO ROCKa Summit 2025 成果報告について



令和8年(2026年)2月9日

フォーラム アワード
FORUM & AWARD



1 フォーラム&アワード(報告)

HiGO ROCKa Summit 2025



- 開催日時：令和7年（2025年）12月20日（土） 13：30～
- 開催場所：くまもと県民交流館パレア 10階 パレアホール
- 主 催：熊本県、熊本県女性の社会参画加速化会議
- 参加者数：143名
- 実施内容：フォーラム、アワード

■当日の様子は3月6日までYouTubeで公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=fmjDvdX9zVc>



1-① サミット開催に向けて



女性の社会参画加速化会議に設置されたワーキング会議、及びワーキング会議から選任された5人の実行委員（特別アドバイザーを含む）により、サミット開催に向けた準備が進められました。

■実行委員会（2回開催）

○第1回：6月25日（水）

開催日程、実施内容の検討等について

○第2回：8月1日（金）

HiGO ROCKa AWARD受賞者の選定等について

■女性の社会参画加速化会議ワーキング会議（2回開催）

○第1回：7月3日（木）

女性活躍交流促進事業（HiGO ROCKa Summit 2025）の開催について

○第2回：9月18日（木）

女性活躍交流促進事業（HiGO ROCKa Summit 2025）の進捗状況について

■開会式

- ・オープニングパフォーマンス (HAPPY PerformerS☆)
- ・開会挨拶 (木村知事)



1-③ アワード



男女共同参画社会の実現に向けて、様々な挑戦を続ける方々を表彰。

① HAPPY PerformerS☆ 代表 エイミー 氏

地域に根差したダンスチームを主宰。地域の健康づくりや生きがいづくり支援にも貢献。

② NPO法人全国教室ディベート連盟九州支部 副事務局長 酒賀 英里 氏

中高大学生へディベートを指導。台湾の大学のディベート活動支援により日台友好にも貢献。

③ 株式会社橋永農園 代表取締役 橋永 高德 氏

「男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業研修」修了者。地域の雇用創出や地域活性化に貢献。

④ スイカ農家 原口 美季 氏

JA鹿本青年部に女性として初加入。農業は女性でも活躍できる職業であることを発信。

⑤ 一般社団法人シンママ熊本応援団 理事 増淵 千保美 氏

「シンママ熊本応援団」を開設。イベント開催等によりシングルマザー同士や地域とのつながりを支援。

⑥ NPO法人nichinichi 理事長 毛利 和子 氏

長期入院を経験した子どもと家族が地域とつながるコミュニティーづくり、拠点づくりに尽力。



1-④-1 フォーラム【パネルディスカッション】



【テーマ】“熊本あるある”～日常にあふれる『もんだ主義』

高森高校マンガ学科が制作したジェンダーにまつわる“熊本あるある”マンガを基に、知事や有識者、Uターン者、海外出身者によるパネルディスカッションを行い、それまでの思い込みを破壊し自己解放を促すことをめざした。

■登壇者4名 ※50音順

特定非営利活動法人あやの里 代表 岡元 奈央 氏

熊本県知事 木村 敬 氏

熊本大学 名誉教授 鈴木 桂樹 氏

台熊友好会 幹事 松岡 光希 氏

■コーディネーター:タレント/ラジオパーソナリティー MEG 氏



1-④-2 フォーラム【パネルディスカッション】



【主な内容】

- 介護の現場に入職してくる男性が増えたのは、介護の仕事がジェンダーレス化したというより、選択できるキャリアのひとつとして捉えられてきたのではないかと思う。性別や国籍、職業に関係なく、一人ひとりがキャリアと生活を選び続けられる地域を熊本から作っていく。その未来に私自身も、現場と経営の立場から関わり続けたいと思う。 【岡元氏】
- 台湾では、議員や経営者などに女性が多数存在しており、外食文化や「安親班（日本でいう学童保育）」といった環境が整っている。そうした環境がまだ整っていない日本では難しいかもしれないが、無理なく頑張っていたきたい。 【松岡氏】
- 社会の制度が許さず女性の社会進出がかなわなかった時代を生きてきた方々への理解を忘れず、お互いを理解し合い、選択肢が豊富にある、県民一人ひとりに可能性が開かれた社会になっていけばいいと思う。選択肢を広げる環境整備に向けた政策的対応と、アンコンシャス・バイアスを含めた意識啓発の持続的取り組みが求められている。 【鈴木氏】
- 若い方がいろいろな経験を積んで、少し回り道をする余裕を与えてあげてほしいと思う。自分で選択して、自分で道を開くということは、男女問わずすべての県民に保障されなければならない。脱・もんだ主義で、今まで決めつけていたものを一つひとつなくして、多様な生き方、暮らし方を私たちがともに包み込み合えば、県民みんなが笑顔になれると信じて頑張っていきたい。 【木村知事】

1-⑤ 参加者からの声



- 女性をリーダーとした時、家事・子育て・仕事など考慮すべき点が多くあり、そこを改善していかなければいけないのではないかと感じていました。知事も同じご意見でしたので安心しました。
- 「もんだ主義」この言葉が日常には幅広くあるため、少しずつ変えていかなければと感じた。
- 若い世代、高校生のマンガを当日資料として使い、わかりやすく導入部として使っている。それを裏付けるデータの提示もあり、非常に良かった。また、日本人パネリストだけでなく、台湾出身者も入っていたので、世界(アジア)との比較もできたのではないかと。
- 目立たずとも、とても素晴らしい活動をしている方々を知ることができた。

※アンケート結果より

プレサミット

(若年層への意識啓発に係る取組み)



2 プレサミット

「今、輝いている人 今、挑戦し続けている人 “憧れびと”に話を聞こう！」

■開催日時: 令和7年(2025年)12月20日(土) 10:30~

※「ヒゴロッカサミット フォーラム&アワード」と同日開催

■開催場所: くまもと県民交流館パレア 9階 会議室2

■参加者: 大学生16名、高校生2名

■実施内容: パネルトーク、交流会(意見交換会)



2-①-1 パネルトーク



様々な分野で活躍する5人の若手社会人をロールモデルとしてお招きし、多彩な経験や学生時代に思い描いていたこと、成功談、失敗談など、熊本に住む・働く魅力を語っていただき、大学生・高校生との交流会を実施。

●パネリスト(ロールモデル)5名 ※50音順

- ① 株式会社鶴屋百貨店 人事部 教育グループ 大塚 あゆ 氏
- ② 東京エレクトロン九州株式会社 先端技術開発部 要素技術開発Gr 長 佳蓉子 氏
- ③ 株式会社Evoliv 代表取締役長 永木 海 氏
- ④ 株式会社熊本日日新聞社 業務局ビジネス開発本部 深川 杏樹 氏
- ⑤ 社会福祉法人山清福祉会 幼保連携型認定こども園やまなみ 山口 和佳 氏

●ファシリテーター 水野 直樹 氏

2-①-2 パネルトーク



パネリストから6つのテーマに沿って発言が行われた。

【テーマ1】今の仕事を選択したきっかけ、理由

【テーマ2】学生の頃の生活、取り組み

【テーマ3】学生の頃と今の社会人としてのギャップの有無、その乗り越え方

【テーマ4】仕事後や週末などの休みの過ごし方

【テーマ5】アンコンシャス・バイアスや固定的性別役割分担について

【テーマ6】これからのキャリアビジョン・ライフビジョン



2-② 交流会（意見交換会）



- 5つのグループに分かれ、パネリストが各テーブルに移動。10分毎にテーブルを移動し、参加者との意見交換を行った。
- 各テーブルにおいて、参加者からパネリストに今の仕事を選んだ理由や、休日の過ごし方などを質問。
また、パネリストから参加者に学生生活の内容について質問するなど、意見交換が行われた。



2-③ まとめ



■ パネリストから、「これから仕事を見つけるために必要なこと」について、参加者へエール・メッセージが送られた。

- お客様がワクワクすることを考えるためには、自分が楽しさを知っていないといけない。学生のうちにたくさん遊んで、その経験を糧に、ぜひ一緒に熊本を盛り上げてもらいたい。
- 選択肢を広げるっていうのが、今後も大切になってくる。今後も、引き出しを増やすような、いろんな体験をしてほしい。
- 挑戦し続けること、考えることをやめないでほしい。そのための自分の判断軸を持ってほしい。
- やりたいことを見つけるのって実はすごく難しい。いろんな人の話聞いて、いろんな考え方を吸収して、最終的にある選択肢から選んでもらえると、いいと思う。
- 就職活動で思い悩んだ経験も含めて、必ず皆さんの力になっていく。

参加者からの声(アンケート)

- 今、やりたいことを見つけ出すのではなくて、やっているうちにやりたいことが見つかっていくということを知ることができた。
- 自分の中のモヤついた理想や考えを形作ることが大切だと学んだ。
- 大学は就職に有利になる所ではなく視野を広げられる、選択肢を増やせる場所だとわかった。
- 自分自身の経験を基に質問をすることができて、そしてそれにあったご回答をいただいたのでとても有意義な時間でした。私の経験は確実に糧になっているという自信にもつながりました。